

「消防学校ニュース」

平成 28 年 10 月 14 日発行

◆ 第 86 期初任科入校式！ — 6 か月間の訓練がスタート —

秋が日増しに深まる 10 月 3 日(月)、初任科第 86 期 37 人(県内 9 消防本部)の入校式を行いました。

入校式では、外岡県危機管理監、望月県消防長会会長（静岡市消防局長）から「近年も大災害で大きな被害が出ている。災害現場で住民の大切なものを守る消防職員に対する住民の期待は益々高まっている」、「住民に信頼される消防士になるべく、消防学校の教育訓練で切磋琢磨し、そして支え合い、消防士としての基本を身につけてください」と大きな期待と心のこもった激励の言葉をいただきました。

御出席いただいた県内各消防本部の消防長など多くの皆様の温かい眼差しが注がれる中、半年にわたる厳しくも愛情ある訓練生活が始まりました。

静岡県危機管理監祝辞



静岡県消防長会会長祝辞



学生入校受付風景



入校生代表宣誓



消防学校長式辞

初任教育初任科第86期入校式



◆ 救助科第 33 期入校 — 技術・知識のレベルアップを目指して —

10 月 5 日(水)、消防学校に精悍な顔つきの消防職員 44 人が入校してきました。専科教育救助科第 33 期の訓練生です。既に現場で活躍する救助隊員が約 1 か月間、救助の技術を磨き様々な知識を身につけます。どれだけ救助能力を高めることができるか、毎日が真剣勝負です。

実技訓練の科目は、高所救助、NBC 災害対応、航空救助、都市型捜索救助、交通救助、火災対応救助、震災時対応訓練など多岐にわたります。県内消防本部の救助隊が、その専門性をもって組織として実技指導に当たること、消防本部の訓練施設を使わせていただくなど校外研修が多いことも救助科の特徴です。

写真は高所救助訓練（水平救助第二法）の様子。

